

新刊『珈琲夜船』の発売に合わせて、 前作も在庫僅少につき重版決定しました！

詩人・菅原敏の近年の代表作 48 編（読者特典：電話朗読室付き）

移ろいゆく暮らしを綴った季節の詩集

『季節を脱いで ふたりは潜る』

肌と肌の輪郭が

あいまいに消えされば

国境を越えて

なめらかな山の稜線

カーテンの隙間から

初夏の日差しが

背中を打ち抜いて

ちいさな午後の死

ラジオのニュース

遭難者 2 名

同じコップで水を飲み

眠りに落ちる前に聞いた

ひとつのからだで

いきるための理由

菅原敏 新詩集

『季節を脱いで ふたりは潜る』

←裏表紙

移ろいゆく暮らしを、
やさしく抱き寄せ、
綴った季節の詩。



→表紙

造本情報
うっすら緑がかかったカバーに
書かれたタイトルと一編の詩
が、淡い水色のトレーシング
の帯を通して、透けて見えま
す。カバーをめくると肌のよ
うな湿った表紙。2種類の本
文用紙の間に時折透ける紙を
挟み込みました。

燃やすとレモンの香
る詩集や毎夜一編の
詩を街に注ぐラジオ
番組など、数々の試
みをおこなってきた
菅原敏。今作では、
遠い日々の断片を拾
い集めて、まるでそ
れをページに挟みこ
むように、季節の情
緒を12ヶ月の詩に写
しました。カバーを
「脱ぐ」とあらわれる
肌のような表紙や、
帯につくられた「小
さな海」など、こだ
わり抜いた造本。さ
らに、一篇の詩を電
話でお届けする読者
特典（電話朗読室）
の電話番号を本書の中
に隠しました。雑誌
『BRUTUS』での連載を
中心に、近年の代表
作含む、12ヶ月×4
編（全48編）を収録。

著：菅原敏 定価：2000円＋税 仕様：A5変形 上製 144p 1C 搬入：2021年6月下旬 ISBN：978-4-8441-3777-1 C0092

新刊『珈琲夜船』の搬入日
11/6頃に搬入予定



菅原敏 すがわら・びん
詩人。2011年、アメリカの出版社PRE/POSTより詩集『裸でペランダ/ウサギと女たち』をリリース。以降、執筆活動を軸にラジオでの朗読や歌詞提供、欧米やロシアでの海外公演など幅広く詩を表現。近著に『かのひと 超訳世界恋愛詩集』（東京新聞）、『珈琲夜船』（雷鳥社）。東京藝術大学 非常勤講師

● 読者特典：電話朗読室
2021年現在、先の見えない状況の中で、この本を手にとってくださった皆様に何か声で詩を届けることはできないものかと考え、電話というシンプルな形を選びました。週に一度とささやかではありますが、朗読を聞きたいという方は書籍記載の番号にお気軽にお電話ください。おひとり様につき一編の詩をお贈りします。

※5冊以上のご注文につき、拡材をご用意いたします。
A4 パネル・POP
ご希望の拡材に○をお付け下さい。

補充注文

帳合・貴店名

ご担当者名

様

冊